

## 春日丘高校 SGH 通信 VOL1

平成27年度より春日丘SGH（スーパーグローバルハイスクール）に指定された春日丘高校の「グローバル課題探求（総合的な学習の時間）」が4月18日（土）より国際コースの1、2年生でスタートしました。東南アジア、東アジアを研究地域にした「グローバル課題探求」の第1回目の講師として中部大学国際関係学部、青木澄夫教授を招き、中部大学10号館（春日丘高校から徒歩5～6分）の講義室で授業を受けました。青木先生は、「日本とアフリカ、東南アジアとの関係、交流史」の研究を専門とし、独立行政法人国際協力機構（JICA）に24年間勤務し、インドネシア、ケニア、タンザニアに在勤され、これまでに50か国以上を訪問されている国際経験豊富な方です。

「Congratulations! 春日丘高校 平成27年度文部科学省スーパーグローバルハイスクール 東南アジアが君たちを呼んでいる！」というスライド画面を皮切りに、これからグローバル世界へ踏み出す生徒たちへの励ましの言葉とともに講義がスタートしました。



**本日の講義の狙い**

1. 東南アジアの地理と日本との関係を学ぶ
2. 東南アジアの多様性を学ぶ
3. 東南アジアの経済発展を支え、人々の福祉向上を図る  
インフラストラクチャー（インフラ）について学ぶ
4. 中部大生のインドネシア経験

### 青木澄夫 先生



1950年、長野県で生まれる。  
専門：研究は日本とアフリカ、東南アジアとの関係・交流史。  
教育は、国際協力、アフリカ地域、東南アジア地域。  
独立行政法人国際協力機構（JICA）に24年間勤務し、インドネシア、ケニア、タンザニアに在勤。2004年から中部大学国際関係学部勤務。  
今までに訪問した国は50か国。  
著書に、『日本人のアフリカ「発見」』、『アフリカに渡った日本人』、『放浪の作家安藤盛と「からゆきさん」』など。  
最近では、東南アジアに昔住んでいた日本人の活動を追っている。

まずは、東南アジアの地理的、歴史的状況（戦時中のアメリカと日本とのフィリピン奪還の争いの歴史、オランダからの独立を支援した後に支配したインドネシアと日本の関係）をふまえ、「そうした歴史的背景を持つ国々の高校生と日本人はどう付き合っていくべきか」という観点のお話がありました。青木先生は、日本は東南アジアにひどいことをしてきたものの、東南アジア諸国は日本を信頼し、親日感情をもっていること、中でも、インドネシアの日本語学習は世界で2番目に多いと語りました。さらに、愛知県の企業の進出状況（インドネシア117、カンボジア2、シンガポール58、タイ235、フィリピン33、ベトナム85、マレーシア51、ミャンマー5）を紹介し、グローバルと言え「欧米」を浮かべやすい私たちに、日本経済の今後の方向性をふまえ、アジアへの視点をもつ重要性を話されました。

そして話題は、アジア経済発展の基盤となる「インフラ」へ。アジアにおける日本の国際協力、特に「アジアのインフラ整備に取り組む上での現状と課題」は本日の講義の中心テーマでした。事前学習の段階では、「インフラ」と「インフレ」の区別ができない生徒もいましたが、「インフラ」＝「道路、鉄道、港湾、発電、学校、病院、下水道施設」の意味を知り、また、日本のODA（政府開発援助）の用途は、主にアジアのインフラ整備にあることを生徒は認識しました。日本のインフラ援助のおかげで経済が活性化する例を挙げ、特に、国境をつなぐ「橋」「港」の役割を、大陸・半島の国（ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ミャンマー）と島国（フィリピン、シンガポール、マレーシア、インドネシア）の地理的特徴をふまえて話していただきました。

### 第二次世界大戦で日本は東南アジア諸国を占領した！



例えば、1942年、日本はイギリス領だったシンガポールを占領、昭南島と改称。1942年、日本はオランダ領だったインドネシアを占領、日本語による教育も始めた。中立国だったタイを除いて、ほとんどの地域が日本軍の支配下となった。

### それなのに、外務省の調査(2014年3月)では東南アジアの人々は日本を信頼してしてくれる！

日本はフィリピンとシンガポールを除くすべての国で最も信頼できる国と評価された。フィリピンではアメリカが最も信頼できる国として挙げられ、シンガポールでは日本とアメリカが同程度に信頼できる国と評価された。

信頼できる国(%)	インドネシア	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム
アメリカ	14	3	15	41	13	17	8
オーストラリア	1	7	1	6	10	4	9
中国	5	8	12	2	1	8	2
フランス	-	1	-	1	-	1	2
ドイツ	7	3	-	3	5	2	2
インド	-	1	-	-	1	1	1
● 日本	47	30	29	31	13	35	46
ニュージーランド	2	8	-	1	10	6	-
ロシア	3	-	1	-	-	1	16
韓国	3	4	1	3	3	2	-
英国	7	9	1	6	6	6	4

### 東南アジアの国々の経済が発展するためには、また海外からの企業を誘致するためには、インフラストラクチャーの整備が必要

日本は、第二次世界大戦後、世界銀行からお金を借り、技術者を外国から招いて、経済インフラを整備した。

東名高速道路 東海道新幹線  
農部第四ダム 愛知用水  
四日市火力発電所など  
空港・港・道路・鉄道・橋が整備されていなくて、電気や水もなく、優秀な労働力の無い国に企業は来てくれない。  
(気を付ける点は何？)

日本のODA（政府開発援助）は、経済インフラの整備に重点を置いてきた。



そして、授業は「2015データブック WORLD」からの資料を活用し、「統計表から読み取れる社会的背景」へ。「1人当たりの国民総所得による幸福の度合い」では、インドネシア\$3420、シンガポール\$49710、\$ラオス1、270、など、東南アジアでも様々です。青木先生は『その数字が豊かな国でも、実は一部の人だけが金持ちで、多くは貧しい場合もある。この数字だけで「豊かさ」を測ることはやめよう。「教育」や「保健」といった観点から、国の幸福度を測ろう』と生徒に語りかけ、インドネシア26パーミル(1000人の赤ちゃんが誕生した時に1歳まで生きられないのが26人)カンボジア34パーミル、日本は2パーミル(青木先生の時代、30パーミル)、アフリカは150パーミル、といった数字から、どういふものをインフラ的に整備していけばこの数字を減らしていけるかを考えていただきたい、と生徒たちに投げかけました。**(生徒に答えを述べず、課題を発見させる授業スタイルが、SGH 課題探求で目指す授業スタイルです。)**

続いて、『幼児死亡率(5歳までに亡くなる率)』、『お母さんが出産の時に亡くなる率』が高い国、『平均寿命』が短い国では何が問題なのだろうか、識字率(日常生活で15歳以上の人々が読み書きできる率)は、なぜ女より男の方が多いのか、といった「インフラ」に関わる問題への視点を生徒たちに投げかけていきました。

最後は、ジャカルタで大人気のJKT48の日本人(中川遙香さん)が、インドネシアでどれだけ日本人のイメージを上げているかという話へ。青木先生によれば、中川さんは「自分を変えるために海外へ飛び出し挑戦した気概ある日本人」であり、今やインドネシアで最も有名であり、「日本人は勤勉である」という日本人の文化をインドネシアの国民に伝えている「文化功労者」とのことでした。You tubeよりJKT48の楽曲を紹介し、インドネシア語の歌とバックに映るインドネシア街の様子、同年齢のインドネシア高校生を見て、生徒たちはインドネシアをさらに身近に感じたようです。普段は大学生を教えておられながら、高校生の目線に合わせて準備された今回の教材の工夫、そして青木先生の熱意が生徒たちに伝わり、また、同行した高校教員も興味深く講義に耳を傾けていました。

ちなみに、次回5月2日(土)の「SGH 課題探求」の時間では、今回の授業をふまえて、生徒たちはその克服課題を考え、調べ、グループで意見を交換し、克服課題とその解決方法をまとめてグループごとに発表し、青木先生よりご高評いただく計画です。

### (その他、講義で使用されたスライドの一部)

#### 一人当たりの国民総所得(GNI)

- GNIある国が国内外で稼いだ総所得
- 一人当たりの国民総所得とは国民の経済的豊かさを表す指標

インドネシア	\$3,420
シンガポール	\$49,710
日本	\$47,870
ラオス	\$1,270

日本は、アジアで一番の国ではない!



インドネシアのロンボック島の小学生

#### インドネシアの日本語学習者

インドネシアの日本語学習者は世界で第2位!!

インドネシアの増減率21.8%

中学高校の枠では1位

順位	国・地域	2009年 留学人数(人)	2012年 留学人数(人)
1	中国	827,171	1,046,490
2	インドネシア	716,353	872,406
3	韓国	964,014	840,187
4	オーストラリア	275,710	296,672
5	台湾	247,671	232,967
6	アメリカ	141,244	155,039
7	タイ	75,802	120,616
8	ベトナム	44,272	46,762
9	マレーシア	22,858	33,077
10	フィリピン	22,382	32,418

#### インドネシア共和国



- 人口: 約2億3千万人(日本の2倍)
  - 面積: 1,919,440平方km(日本の5倍)
  - 首都: ジャカルタ
  - 経済成長率: 6%
  - 在留邦人: 約1万5千人(2013年)
- 今、日本の企業が投資先として選ぶ国ナンバーワン  
日本料理店や真似したレストランが至る所に在り

AKB's 人生論 仲川 遥香 (JKT48)  
大人たちがいたい

ジャカルタ留学 笑顔で挑戦

今や、インドネシアで最も有名、かつ日本のPRをしていている日本人。

#### 終わりに

- 春日丘高校のSGHプロジェクトは、地元愛知県とアジアに目を向けた画期的かつ挑戦的なものです。
- 国際人を目指す君たちにとって、アジアで友人を得ることは、かけがえのない財産になります。
- 期待しています!